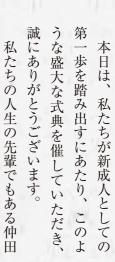
新成人「二十歳の誓い」



嬉しく思っております。 いた励ましや、お祝いの言葉、大変 一彦市長やご来賓の方々からいただ 新成人を代表いたしまして、心よ

苦しみました。

りお礼申し上げます。

るようになりたい」とずっと思って というイメージがありました。「早 く大人になって自分でなんでもでき いました。 幼い頃、「二十歳」と聞くと大人

め直してみました。 人式を迎えるにあたり、自己を見つ 一歩でも近づけたのでしょうか。成 あの頃抱いた「二十歳」に、私は

なことを経験してきました。 この二十年間で成功や失敗、様々

が震えたり、 に人前に立つような子ではありませ んでした。人の前で話すときには声 小学校の頃、私は決してこのよう 友達がいなければ何も

を自然と学んでいた気がします。 な「他者と協働することの大切さ」 事が大好きで、生きて行く上で必要

思っていました。 のためなら何を捨ててもいい、そう 受験勉強に取り組みました。「合格」 行きたい学校があったため、必死で 中学3年生の夏、 私はどうしても

け込んで先生に助けてもらったこと ありました。泣きながら保健室に駆 どうしようもできなくなったことも て精神的に追い詰められ、 ました。受験による不安、孤独によっ うほど、すべてを受験勉強にささげ も、食事をする時間でさえ惜しく思 した。友達と遊ぶ時間も、 ションが減り、孤独な戦いが続きま えるにつれ、友人とのコミュニケー 自分では 睡眠時間

できなかったりと、非常におとなし

それでも運動会や音楽会などの行 中学・高校時代はとにかくもがき

そんな考えのせいで勉強時間が増

した高校生活を送ることができまし 方と出会うことができ、本当に充実 学校に行くことはできませんでし たが、私の願いは叶わず第一志望の そのように必死に戦った受験でし

事も何もかも全力で取り組んでいる たな」と思えるようになりました。 うちに、「本当にここに来てよかっ 高校でしたが、部活も勉強も学校行 そして、何よりも素晴らしい先生 しかし、最初は不本意で入学した

年後かもしれない。 ません。一年後かもしれないし、 す。それが何年後になるかはわかり 対にどこかに繋がっていると思いま 限りません。しかし、その努力は絶 張っても、その時に願いが叶うとは 実感しました。ある目標に対して頑 は決して裏切らない」ということを 私は中学・高校の六年間で「努力

輝ける」そう信じて歩み続けていま でも、「諦めなければ、 いつかは

受験勉強と違って、答えのない道を 夢に向かって全力で走っています。 歩んでいると不安が募り逃げ出した 塾大学でアナウンサーになるという くなる時もあります。 私は今、神奈川県にある、慶應義

部自分でやらなくてはいけません。 て帰っても、 れる両親もいません。どんなに疲れ 出迎えてくれる人はいません。「う 心の底から感じました。 ん、うん」と頷き、愚痴を聞いてく 一人暮らしをして、 そんな時でも、家にはおかえりと 掃除も洗濯も料理も全 家族の偉大さを

詰まっています。 故郷三木には私の大好きがいっぱい でも、私には帰る場所があります。

焼けどきの真っ赤な空。 達。かつてはたくさんの悩みを抱え ながら歩いた通学路。踏切の音。 も何一つ変わりなく笑いあえる友 てくれる先生方。久しぶりに会って 家族。卒業してからもずっと見守っ てきていいんやで」と言ってくれる 「しんどくなったらいつでも帰っ 夕

でたくさんのことを得られたから今 コマ1コマを、思い出させてくれま その全てが、三木で育ち感じた1 故郷三木は私の誇りです。三木

の私があります。 いるかはわかりません。自分一人で 幼い頃描いた「二十歳」になれて

あります。 しかし、これからは大人として自

はできないこともまだまだたくさん

て育ってきたように。 これまで三木でたくさんの愛を受け 与えられる人になりたいです。私が 分なりに、一人でも多くの人に愛を

んでいきます。 じ、人を信じ、最後まで諦めずに進 と思います。そんなときは自分を信 いような高い壁に出会うこともある これから先、ぶつかったことのな かつて恩師の先生がおっしゃって

だから」 代表の挨拶といたします。 強く歩んでいくことを誓い、新成人 これからの人生を精一杯楽しみ、力 最後になりましたが、 大人として

のも、変えるのも、いつも自分次第

いたように、「自分の人生を決める

平成三十年一月七日 新成人代表 前田さつき



